



2024年12月24日
JR東日本 東北本部

仙石線への新型車両投入について

JR東日本では、安全性・安定性、快適性を高め、安心してご利用いただける鉄道づくりを推進し、輸送品質の向上を追求しています。

このたび、仙石線に新型車両を投入することとしましたので、お知らせします。

この新型車両は、車内の快適性向上、お客さまへの情報提供の充実、バリアフリー化の推進を図るとともに、モニタリング技術[※]を活用することで、安全性・安定性の向上を実現します。

※モニタリング技術とは、各機器の状態を常時監視することで、走行中に機能確認を行なう技術のことです。

1. 形式および編成数

E131系

4両編成を14編成、合計56両を新造します。

2. スケジュール

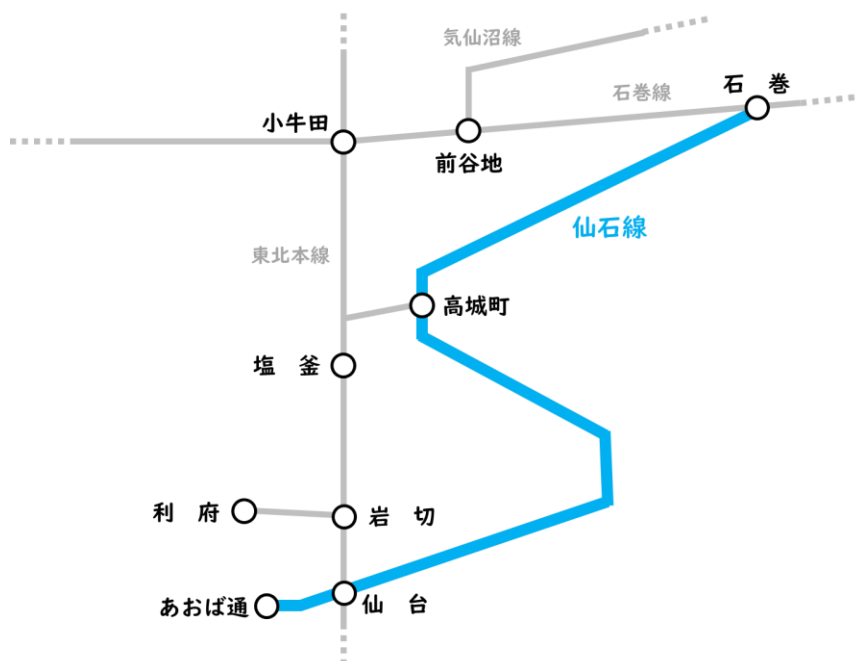
2025年度冬頃から営業運転を予定しています。

3. 投入線区

仙石線（あおば通～石巻間）



E131系 イメージ



4. 主な特徴（別紙参照）

【デザイン】

- ・車両の前面デザインは、仙石線 205 系の色彩を踏襲し E131 系特有のドット柄とします。
- ・インテリアデザインは、仙石線沿いの海の景色をイメージした室内とします。ラインカラーのスカイブルーをモケットの背に使用したロングシートとし、仙石線に馴染みのあるインテリアカラーとします。

【安全・安定性の向上】

- ・各車両の客室に車内防犯カメラを設置します。また、従来の車両では 1 両に 1 か所設置していた非常通報装置を 4 か所（トイレ設置車は 5 か所）に増やし、セキュリティ性能を向上します。
- ・車両側面にカメラを設置し、乗務員が運転室からお客さまの乗降を確認する機能など、ワンマン運転に対応した機器を搭載します。
- ・モニタリング技術を活用した車両搭載機器や線路設備の状態監視機能により、故障の予兆を把握し、事前に対処することでさらなる安全性・安定性向上を実現します。

【車内の快適性向上】

- ・車体の幅を広げ、座席幅を拡大するなど快適性を向上します。

【お客さまへの情報提供の充実】

- ・運行情報や乗換案内を表示する大型ディスプレイ（17 インチ）を一部のドア上部に設置し、情報提供の充実を図ります。

【バリアフリー化の推進】

- ・車いすやベビーカーをご利用になるお客さまのために、フリースペースを各車両に設けます。

【環境性能の向上】

- ・主回路機器に SiC（炭化ケイ素）半導体素子を採用することにより、車両の消費電力を抑制し、環境性能を向上します。

5. その他

現在使用している 205 系は順次、E131 系に置き換えます。すべての編成を E131 系に置き換えた後、仙石線あおば通～石巻間でワンマン運転を実施します。実施時期については、決まり次第お知らせします。

新型車両の概要①



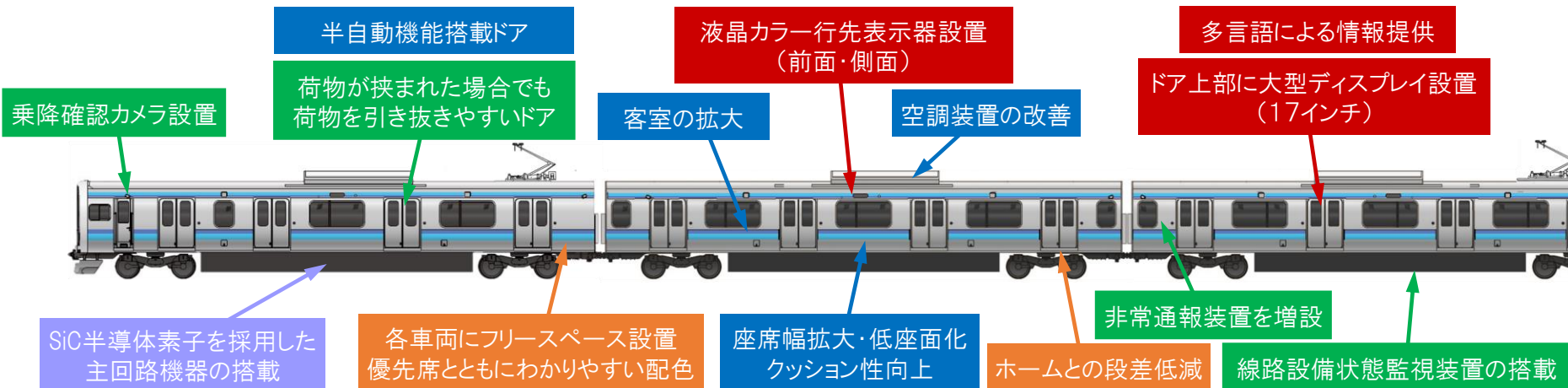
乗降確認カメラ
(写真: E131系房総・鹿島エリア)



液晶カラー行先表示器設置
(写真: E131系鶴見線)



多言語による情報提供画面
(イメージ)



主な特徴

- 安全・安定性の向上
- 車内の快適性向上
- お客さまへの情報提供の充実
- バリアフリー化の推進
- 環境性能の向上



フリースペース
(写真: E131系房総・鹿島エリア)



客室内
(イメージ)



線路設備状態監視
(写真: E131系房総・鹿島エリア)

新型車両の概要②

～205系との比較～

		
	E131系(新型) (イメージ)	205系(現行)
編成構成	4両編成(2M2T)	4両編成(2M2T)
最高速度(※仙石線線区最高速度95km/h)	110km/h	100km/h
標記定員(人)	596(座席177 立席419)	601(座席195 立席406)
車体	ステンレス製	ステンレス製
車体幅	2950mm(拡幅車体)	2800mm
座席1人当たりの幅	460mm	435mm
シート方式	ロングシート	ロングシート、ボックス
制御方式	VVVFインバータ制御(SiC半導体素子) 回生ブレーキ	直並列組合せ抵抗制御、界磁添加励磁制御 回生ブレーキ
主電動機	全閉型誘導電動機	直流電動機
補助電源装置	静止型インバータ	静止型インバータ
コンプレッサ	スクロール式(オイルフリー)	レシプロ式
車両情報管理装置	モニタ装置	なし
戸閉装置	電気式(ラックアンドピニオン方式)	空気式
情報提供装置	液晶ディスプレイ	なし
車両状態監視機能	あり	なし
線路設備状態監視機能	あり(一部)	あり(一部)
ワンマン運転対応機器 (乗降確認カメラ等)	あり	なし
トイレ	あり	あり